

原子力主要国及びアジア諸国の JCO 事故関連の報道についての調査

科 学 技 術 庁

1999 年 12 月

はじめに

日本の原子力史上最悪と言われるJCO東海事業所の転換試験棟での臨界事故のニュースは即日世界を駆けめぐり、世界各国の関心を呼ぶところとなった。

海外メディアによって報道された記事の中には、誤った事実関係に基づくものや、誇張されたものの他、日本の原子力産業全体に言及する論評を掲載するものも見られた。

日本は今後、事故についての情報を海外へ提供する際には、誤報道によって公衆が事故状況を誤解している可能性を意識し、各国の原子力情勢の違いを考慮して行動する必要があるかもしれない。また、事故に関する正確な情報を公開することで、日本の原子力政策の透明性を高め、国際的な信頼を確保できると思われる。

はじめに

1. 調査目的	1
2. 調査手法	2
3. 報道件数の統計	5
4. 誤報道の特定	23
5. 論評の内容・推移	40
5.1 国別の論評のまとめ	43
1) 米国	43
2) カナダ	45
3) フランス	46
4) 英国	47
5) ドイツ	48
6) ロシア	49
7) オーストラリア	49
8) 中国	50
9) 韓国	51
10) タイ	52
11) ベトナム	53
12) インドネシア	54
13) 台湾	54
14) 通信社	55
5.2 論評の要点	57
1) (米) ニューヨークタイムズ	57
2) (米) ワシントンポスト	60
3) (米) LAタイムズ	62
4) (米) タイム (国際版)	67

5) (米)エコースウィーク (国際版)	67
6) (加)グローブ・アンド・メール	68
7) (仏)ル・モンド	70
8) (仏)レゼコエ	72
9) (仏)リベラシオン	73
10) (仏)ル・ボゾン	75
11) (仏)レクスプレス	75
12) (英)タイムズ	76
13) (英)インディペンデント	76
14) (英)ガーディアン	77
15) (英)エコノミスト	79
16) (独)フランクフルター・アルゲマイネ	79
17) (独)南ドイツ新聞	81
18) (独)ヴェルト	85
19) (独)シュピーゲル	87
20) (独)フォーカス	88
21) (露)ロシア新聞	89
22) (露)イズベスチヤ	90
23) (豪)オーストラリアン	90
24) (豪)シドニー・モーニング・ヘラルド	91
25) (中)人民日報	92
26) (中)解放日報	92
27) (韓)東亜日報	93
28) (韓)朝鮮日報	96
29) (タイ)マティチヨン	98
30) (タイ)タイラット	98
31) (ベトナム)クアンドイ・ニャンザン	99
32) (インドネシア)コンパス	100
33) (インドネシア)メディア・インドネシア	100

34) (在外)のジャカルタ・ポスト	101
35) (台湾)中国時報	106
36) (台湾)自由時報	107
37) (米)AP通信	109
38) (英)ロイター通信	113
39) (日)共同通信	126

6. まとめ	137
--------	-----

今回の会議にて配布した資料は多量な資料の為、入手を希望される方は下記3機関において閲覧・複写（有料）に応じております。

●原子力公開資料センター（東京都文京区白山5-1-3-101）

TEL 03（5804）8484 東京富山会館ビル6F

土・日・祝日、10／1日は休館

●未来科学技術情報館（東京都新宿区西新宿）

TEL 03（3340）1821 新宿三井ビル1F

第2・第4火曜日は休館

●サイエンス・サテライト（大阪府大阪市北区扇町）

TEL 06（6316）8110 扇町キッズパーク3F

月曜日、祝祭日の翌日は休館